

NY生活クリニック 週刊NY生活 08/2006

## 自閉症がカイロ治療で改善

自閉症は社会性や他者とのコミュニケーションの発達が遅滞する障害で、近代、増加の傾向にあります。IQ70以下の低機能自閉症と70以上の高機能自閉症に分けられ、その症状は人間関係、言語、行動の3領域に現れ、知能に影響が出る場合もありますが、自閉症と精神遅滞とは別のものです。原因は未だ解明されていませんが、現在は先天性の脳機能障害説が主流とされている他、MMRなどのワクチンの影響も疑われています。

自閉症の発症率は人口1万人中90人という数字が英国で報告されていますが、米国のアーミッシュ(キリスト教徒のグループで電気や車などの近代技術を導入せず昔ながらの生活様式を守る人々)への調査で非常に興味深い結果が出ています。調査前は200人前後の自閉症患者数が予測されましたが、実際はわずか3人しかいませんでした。アーミッシュは州政府から独立した教育制度を持ち、乳幼児への予防接種の義務が無いために自閉症発生率が少ないのでは?と考えられています。

現在、法的に認可された自閉症治療薬はありませんが、カイロが症状の改善に有効なケースがあります。出産時に起因するサブラクセーション(背骨の歪みや変形が中枢神経に悪影響を与え、体調不全を起こすこと)を持つ子供は多いですが、自閉症児には特に上部頸椎にサブラクセーションが見られ、その頸椎を治療することによって症状が改善するのです。米国で行われた実験で、26人の自閉症児にカイロ治療を9ヶ月間行ったところ、ほとんどの子供がリタリンなどの薬が必要なくなり、うち5人が通常の学校への通学が可能になりました。